

茨城県景気ウォッチャー調査 (平成15年12月調査分)

調査の目的

- ・経済の第一線で働いている人々から、景気に関する生の情報を得る。
- ・その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに、迅速に公表する。
- ・県や市町村のきめ細やかな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となる。

調査の概要

- ・調査客対数…県内各地域（県北，県央，鹿行，県南，県西）ごとに60名，計300名。
- ・調査内容…景気の現状，先行き判断とその判断理由。
- ・調査時期…四半期（3，6，9，12月）ごとに実施し，翌月公表。

調査の概要（回答率95.7%）

1. 県全体の状況

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは、「良くなっている」・「やや良くなっている」の回答構成比が増加したため、4.5ポイント増の50.1となった。横這いを表す50を上回ったのは平成14年12月に調査を開始して以来初めてのことである。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を上回った。

主な判断理由

- ・売上げが前年割れの状態が続いていたが、前年を上回るようになってきた。（県北＝観光型ホテル）
- ・仕入先や客との日常会話のなかで、以前と比較して景気に関して深刻な話題が少なくなったように感じる。（県央＝商店街代表者）
- ・暖房商品が少々不振であるが、パソコン等の動きが好調となり、上向きに推移している。（県南＝家電販売店）

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		38.2	43.0	45.6	50.1
家計動向関連		35.1	41.9	41.2	47.9
小売関連		34.0	43.0	41.3	47.1
飲食関連		31.9	34.7	42.5	43.8
サービス関連		35.8	42.3	38.0	49.1
住宅関連		39.3	44.4	66.7	52.8
企業動向関連		42.8	44.3	49.7	50.9
農林水産業		46.4	53.6	50.0	34.4
製造業		44.0	45.1	49.5	56.0
非製造業		39.8	40.8	50.0	47.4
雇用関連		45.5	47.0	62.0	63.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	2.2%	1.4%	1.8%	3.8%
やや良くなっている	11.8%	18.6%	21.0%	27.2%
変わらない	36.2%	40.7%	45.2%	41.8%
やや悪くなっている	36.2%	29.3%	21.7%	19.9%
悪くなっている	13.7%	10.0%	10.3%	7.3%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは、「やや良くなっている」の回答構成比が減少し、「やや悪くなっている」の回答構成比が増加したため、2.3ポイント減の47.8となり、横這いを表す50を下回った。業種別にみても、企業動向関連DI及び雇用関連DIは9月調査分に引続き、横這いを表す50を上回ったが、家計動向関連DIは横這いを表す50を下回り、9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・業績見通しが発表されたが、今年度は昨年度よりもかなり上向いているとのことである。(鹿行＝製造業(電気機械器具))
- ・冬のボーナスが減少傾向にあり、レジャー等の支出は控えムードになるのではないと思われる。(県北＝旅行代理店)
- ・謝恩会・歓送迎会等の宴会の時期であるが、他社との見積り合わせで、安価な方を選んでいる状況にあり、今後も良くなる方向には期待できない。(県南＝都市型ホテル)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		34.8	45.4	50.1	47.8
家計動向関連		33.4	44.2	49.0	44.6
小売関連		33.2	41.4	48.0	47.5
飲食関連		33.3	44.4	50.0	42.5
サービス関連		33.9	45.4	49.4	41.9
住宅関連		28.6	52.8	50.0	50.0
企業動向関連		35.9	47.3	51.2	51.2
農林水産業		39.3	57.1	56.3	50.0
製造業		35.3	47.3	47.8	52.7
非製造業		36.1	45.0	55.2	49.1
雇用関連		40.9	47.0	54.0	60.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	0.4%	0.4%	1.4%	2.1%
やや良くなっている	10.0%	16.1%	28.1%	21.3%
変わらない	35.8%	54.3%	47.3%	49.1%
やや悪くなっている	32.6%	23.2%	15.7%	20.9%
悪くなっている	17.7%	6.1%	7.5%	6.6%

2. 地域別の状況

<景気の現状判断DI>

	平成15年 9月	平成15年 12月	前回調査比
茨城県	45.6	50.1	+4.5
県北地域	39.2	48.3	+9.1
県央地域	44.6	50.9	+6.3
鹿行地域	41.7	46.1	+4.4
県南地域	47.7	56.1	+8.4
県西地域	55.0	49.1	-5.9

<景気の先行き判断DI>

	平成15年 9月	平成15年 12月	前回調査比
茨城県	50.1	47.8	-2.3
県北地域	44.8	43.2	-1.6
県央地域	49.1	48.2	-0.9
鹿行地域	51.3	49.6	-1.7
県南地域	51.8	50.0	-1.8
県西地域	53.6	48.2	-5.4

県北地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは48.3であり、9月調査分と比べて9.1ポイント上回り、上昇幅が全県を通じて最も大きかった。業種別にみても、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが9月調査分を上回った。

主な判断理由

- ・新3種の神器（デジタルカメラ・薄型テレビ・DVD）などで活況を呈している。（製造業＝（一般機械器具））
- ・製造業からの受注件数が増加している。（人材派遣業）

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		30.1	40.8	39.2	48.3
家計動向関連		24.3	40.1	33.3	43.9
企業動向関連		39.1	42.6	45.6	54.4
雇用関連		43.8	40.0	60.0	60.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	1.9%	3.3%	1.7%	1.7%
やや良くなっている	1.9%	11.7%	10.3%	30.5%
変わらない	37.0%	43.3%	46.6%	40.7%
やや悪くなっている	33.3%	28.3%	25.9%	13.6%
悪くなっている	25.9%	13.3%	15.5%	13.6%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは43.2であり、9月調査分と比べて1.6ポイント下回り、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、企業動向関連DI及び雇用関連DIが9月調査分を上回ったが、家計動向関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・大手の会社が来年3月で閉鎖するという話があり、景気は良くなるのではないかとと思われる。（割烹料理店）
- ・予約状況から見ると景気が上向き気配が見られない。（観光型ホテル）

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		28.7	42.9	44.8	43.2
家計動向関連		25.0	38.8	41.7	35.8
企業動向関連		35.9	51.5	48.5	54.4
雇用関連		31.3	45.0	55.0	60.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
やや良くなっている	3.7%	13.3%	25.9%	16.9%
変わらない	33.3%	53.3%	44.8%	47.5%
やや悪くなっている	37.0%	25.0%	12.1%	20.3%
悪くなっている	25.9%	8.3%	17.2%	13.6%

県央地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは50.9であり、9月調査分と比べて6.3ポイント上回り、横這いを表す50を上回った。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を上回った。

主な判断理由

- ・経営環境の厳しさに対して諦めるのではなく、知恵とやる気を出して頑張っている中小企業等が多くなっている。（非製造業（コンサルタント業））
- ・忘年会が始まり夜の利用客は増加しているが、これは一時的なものであり、昼の利用客は相変わらず少ない。（タクシー運転手）

■調査から

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年	平成15年	平成15年	平成15年
		3月	6月	9月	12月
合計		39.1	40.5	44.6	50.9
家計動向関連		36.1	38.6	41.7	49.3
企業動向関連		46.7	43.3	48.3	50.0
雇用関連		37.5	45.0	55.0	65.0

回答構成比

	平成15年	平成15年	平成15年	平成15年
	3月	6月	9月	12月
良くなっている	3.6%	0.0%	1.8%	1.8%
やや良くなっている	12.7%	14.5%	17.9%	24.6%
変わらない	34.5%	43.6%	46.4%	54.4%
やや悪くなっている	34.5%	30.9%	25.0%	14.0%
悪くなっている	14.5%	10.9%	8.9%	5.3%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは48.2であり、9月調査分と比べて0.9ポイント下回った。業種別にみても、企業動向関連DIが9月調査分を上回ったが、家計動向関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・引合件数が増加傾向にあり、受注決定目前の件数もいくつかある。(製造業(一般機械器具))
- ・観梅に合わせて予約が入ってきているが、最近キャンセルが多いので観光シーズンとはいえ安心できない。(ドライブイン)

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成15年	平成15年	平成15年	平成15年
		3月	6月	9月	12月
合計		36.8	42.7	49.1	48.2
家計動向関連		35.4	40.7	48.6	45.3
企業動向関連		41.7	46.7	50.0	55.0
雇用関連		31.3	45.0	50.0	50.0

回答構成比

	平成15年	平成15年	平成15年	平成15年
	3月	6月	9月	12月
良くなっている	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
やや良くなっている	9.1%	12.7%	21.4%	22.8%
変わらない	43.6%	56.4%	55.4%	52.6%
やや悪くなっている	32.7%	20.0%	14.3%	19.3%
悪くなっている	14.5%	10.9%	7.1%	5.3%

鹿行地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは46.1であり、9月調査分と比べて4.4ポイント上回ったが、DI値は全県を通じて最も低かった。業種別にみても、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが9月調査分を上回った。

主な判断理由

- ・輸出を軸に高水準で推移しており、販売価格も上昇している。業績回復基調といえる。(製造業(金属製品))
- ・コイヘルペスウィルスの風評被害の影響があったと思われる。(ドライブイン)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年	平成15年	平成15年	平成15年
		3月	6月	9月	12月
合計		39.5	41.8	41.7	46.1
家計動向関連		40.3	38.6	38.9	44.6
企業動向関連		37.5	50.0	45.3	48.4
雇用関連		40.0	40.0	50.0	50.0

回答構成比

	平成15年	平成15年	平成15年	平成15年
	3月	6月	9月	12月
良くなっている	2.0%	1.8%	0.0%	5.2%
やや良くなっている	10.0%	16.4%	15.8%	19.0%
変わらない	40.0%	41.8%	43.9%	39.7%
やや悪くなっている	40.0%	27.3%	31.6%	27.6%
悪くなっている	8.0%	12.7%	8.8%	8.6%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは49.6であり、9月調査分と比べて1.7ポイント下回った。業種別にみても、企業動向関連DI及び雇用関連DIが9月調査分を上回ったが、家計動向関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・飲食店・商店街に活気がない。(タクシー運転手)
- ・例年スポーツ合宿の利用が多い時期であるが、予約状況が悪い。(観光型ホテル)

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		33.0	45.9	51.3	49.6
家計動向関連		29.8	45.7	52.1	46.6
企業動向関連		35.7	46.7	50.0	54.7
雇用関連		45.0	45.0	50.0	55.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	0.0%	0.0%	1.8%	3.4%
やや良くなっている	12.0%	18.2%	24.6%	22.4%
変わらない	30.0%	50.9%	52.6%	50.0%
やや悪くなっている	36.0%	27.3%	19.3%	17.2%
悪くなっている	22.2%	3.6%	1.8%	6.9%

県南地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは56.1であり、9月調査分と比べて8.4ポイント上回り、横這いを表す50を上回った。また、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を上回った。

主な判断理由

- ・求人広告の掲載件数が増加している。(求人広告)
- ・社用接待等で利用する客が増加している。(ゴルフ場)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		40.7	45.5	47.7	56.1
家計動向関連		40.4	50.8	43.9	55.0
企業動向関連		40.6	33.8	47.1	50.0
雇用関連		43.8	50.0	75.0	85.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	3.7%	1.8%	3.6%	8.8%
やや良くなっている	16.7%	23.6%	25.5%	33.3%
変わらない	29.6%	36.4%	41.8%	35.1%
やや悪くなっている	38.9%	30.9%	16.4%	19.3%
悪くなっている	11.1%	7.3%	12.7%	3.5%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは50.0であり、9月調査分と比べて1.8ポイント下回ったが、DI値は全県を通じて最も高かった。業種別にみても、雇用関連DIが9月調査分を上回ったが、家計動向関連DI及び企業動向関連DIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・顧客からの受注に対応できない事例が増加傾向にあり、需要に供給が追いつかない状況が予想される。(人材派遣業)
- ・長期に渡る不況は下げ止まった感じはするが、具体的に景気が良くなる要素が見当たらない状況である。(製造業=食品)

景気の先行き判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		35.2	43.6	51.8	50.0
家計動向関連		39.0	45.5	50.8	49.3
企業動向関連		26.6	39.7	52.9	42.6
雇用関連		37.5	45.0	55.0	80.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	1.9%	0.0%	1.8%	5.3%
やや良くなっている	13.0%	9.1%	34.5%	19.3%
変わらない	27.8%	63.6%	38.2%	50.9%
やや悪くなっている	38.9%	20.0%	20.0%	19.3%
悪くなっている	18.5%	7.3%	5.5%	5.3%

■調査から

県西地域

(1) 現状判断

3か月前と比較した景気の現状判断DIは49.1であり、9月調査分と比べて5.9ポイント下回った。DI値が9月調査分を下回ったのは県西地域のみである。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・施設の利用者は若干増加しているが、施設内での消費額が増加傾向にない。(レジャー施設)
- ・売上げが対前年比で下回っており、新店舗の売上げも予想売上げを下回った。(和食食堂)

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		41.4	46.8	55.0	49.1
家計動向関連		34.6	41.9	49.2	47.0
企業動向関連		48.7	51.3	61.1	51.4
雇用関連		60.0	60.0	70.0	55.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%
やや良くなっている	17.2%	27.3%	36.4%	28.6%
変わらない	39.7%	38.2%	47.3%	39.3%
やや悪くなっている	34.5%	29.1%	9.1%	25.0%
悪くなっている	8.6%	5.5%	5.5%	5.4%

(2) 先行き判断

3か月先の景気の先行き判断DIは48.2であり、9月調査分と比べて5.4ポイント下回り、下降幅が全县を通じて最も大きかった。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが9月調査分を下回った。

主な判断理由

- ・地元経済に影響が大きい足利銀行が破たんした。運転資金や今後の借入にどのような影響が出るのか、不安一杯の会社・商店が多い。(製造業(印刷業))
- ・良くなる産業が見当たらない。(県西=非製造業(金融業))

景気の現状判断DI

分野	調査日時	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
合計		39.7	51.8	53.6	48.2
家計動向関連		37.5	51.6	52.3	46.1
企業動向関連		39.5	51.3	54.2	50.0
雇用関連		55.0	55.0	60.0	55.0

回答構成比

	平成15年 3月	平成15年 6月	平成15年 9月	平成15年 12月
良くなっている	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%
やや良くなっている	12.1%	27.3%	34.5%	25.5%
変わらない	43.1%	47.3%	45.5%	43.6%
やや悪くなっている	36.2%	23.6%	12.7%	29.1%
悪くなっている	8.6%	0.0%	5.5%	1.8%